

# 育成モノづくり人材

Vol. 58

## 千葉県立東総工業高校

千葉県立東総工業高校は、千葉県北東部で唯一の工業高校として、地域の産業発展を支える人材を50年以上にわたって輩出し続け



名取校長

利根川を挟んだ対岸には鹿島臨海工業地帯が広がり、内陸部にも工業団地が点在。名取康雄校長は「古くから地域に根付いた学校として、地元企業からの支持率は高

**【DATA】**▷校長一名取康雄氏▷所在地=千葉県旭市▷学科構成=電子機械、電気、情報技術、建設▷生徒数=479人▷主要設備=CADシステム、マシニングセンター、NC旋盤、高圧実験設備、回路工作室、木材加工機など▷主な進路=JR東日本、東京ガス、JXエネルギー、新日鉄住金、三菱化学、ヤマサ醤油、千葉工業大学、日本大学など

こうした取り組みを受け、生徒の自主性も高まっている。県の技術コンクールなどに積極的に挑戦。工業系の部活動も活発だ。機械情報部は口

## 地元就業意識養う講習会

「い」と胸を張る。確かな学力、技術の習得とともに、社会で活躍できる「人づくり」が教育の基盤。「地元企業は長く一緒に働けるよう、人間性を何より重視する」(名取校長)。モノづくりを通育する「ことを常に念



た実践的な内容が自立頭で置く。一般的な企業に8回連続で出場。13年には全国優勝した強豪チームだ。探究心を磨き、自ら技術を磨く。論文が書けない生徒が多いと聞き、近隣の千葉科学大学(千葉市)と連携して、確かな企業に送り

外部企業・団体による講習会も多い(建設学科のクレーン講習会)出すという昔ながらの学校の良き(名取校長)を残す。東総地域は大規模工業地帯を抱えながら人口減少が進み、今年は120人程度の就職希望者に対し約1700件の求人があった。地元就職を後押ししようと、旭市、匝瑳市で就職説明会も開催。名取校長は「人材がいなくなれば産業は衰退し、地域の活力がなくなる。地域に根ざし、地域とともに育つていく学校でありたい」と力強く語る。(千葉・曾谷絵里子)(金曜日に掲載)